科目名	老年看護学方法論Ⅰ	対象学年・時期	２年・前期
講師	専任教員	単位数・時間数	１単位・３０時間
講義概要	デイプロマポリシー３に基づく。老年期の対象において、加齢がもたらす身体的・心理的・社会的変化は、対象となる高齢者の人生、暮らしに影響を及ぼす。対象はその変化に適応しながら自律したその人らしい暮らしを送っている。暮らしに影響を及ぼす「加齢」の実態とその影響、その人らしい暮らしを送るために必要な支援の視点をこの科目では学んでいく。		
講義形態	講義　演習		
学習目標	１．高齢者の生理的特徴がわかる。 ２．高齢者の特徴を踏まえた、フィジカルアセスメントがわかる。 ３．高齢者の生活機能のアセスメントができる。 ４．高齢者の健康・自律を支える基本的援助ができる。 ５．高齢者の生活の場である各施設の機能・役割と看護の特徴がわかる。		
学習内容 (授業計画)	１回目　高齢者看護の実際 １）高齢者に対するアセスメント　２）高齢者のバイタルサインの特性 ２回目　生活を支える看護 １）コミュニケーション2）寛ぎ・安心・安全 ３回目　歩行・移動・姿勢保持 ４回目　活動と休息 ５回目　食生活 ６回目　排泄 ７回目　清潔・衣生活・身だしなみ ８回目　セクシュアリティ・社会参加 ９回目　高齢者に特有な症候・障害と看護(加齢による病態と要因を中心に) １）脱水 １０回目　２）摂食・嚥下障害　３）低栄養 １１回目　４）尿失禁　５）便秘・下痢 １２回目　６）皮膚の障害　７）睡眠障害 １３回目　８）廃用症候群（フレイルを含む） １４回目　高齢者の多様な生活の場 1）介護保険施設　２）医療施設　３）その他		
使用テキスト	老年看護学　①高齢者の健康と障害　　②高齢者看護の実践　（メディカ出版）		
事前学習・ 事後学習 (学習を促進できる学修)	基礎看護学日常生活援助の関連項目及びフィジカルアセスメントの基本を復習しておく。 その他、講義中に適宜指示する。		
評価基準と 評価方法	終講試験９０％　課題提出状況１０％		
備考			